

5 連携後の両市の変化

連携後の両市の変化

旭川市 有機農業取組事業者増加

取組事業者 ▶ 6倍へ!
面積 ▶ 2倍へ!

2者
約20ha

8者
約36ha

12者
約44ha

令和4年

令和5年

令和6年

※有機農業関係交付金対象者

泉大津市

備蓄用として旭川市から 50tの慣行農業米を確保
食料危機の備えという 目的達成

6 まとめ

(1) 消費地が生産地へアプローチ

- ▶ 消費地…安定的に食料を確保
- ▶ 生産地…販路拡大により有機農業の取組事業者増

(2) 適正価格の販売

- ▶ 農業者の**所得向上**と
担い手不足の解消に繋がった

(3) 消費者の顔が見えることで 生産者の意欲が向上



■ 旭川市の課題

- ・ 有機農業関連**機械等の導入経費に対する支援**
- ・ 有機農産物の**輸出スキームなどの情報提供**
- ・ 農産物の**空輸送経費に対する支援**
- ・ 旭川市を**国の実証実験の舞台に**



生産地と消費地をつなぐ架け橋 オーガニック「ブリッジ」として 今後の有機農業を牽引していく





ご清聴
ありがとうございました

ASAHIKAWA CITY